

# 子育て中でも昼間、吹奏楽を楽しむ



## ファミリーウィンズ 和(なごみ) おおみや市民吹奏楽団

ファミリーウィンズ和は、月4回、平日や土日の昼間に、さいたま市を拠点として活動している吹奏楽団です。年数回の施設への訪問演奏やコンサートなどで発表を行っています。

連絡先(ホームページ) <http://familywinds753.web.fc2.com/>

「結婚して子どもができるまで続けてきた楽団で楽器を楽しみたくても、多くは夜間の練習なので参加しにくく、練習に参加すれば子どもが気になり、家族にも負担がかかります。日中、子ども連れで練習ができたなら、という思いから2009年5月に、かつて所属していたおおみや市民吹奏楽団を母体に立ち上げたのが、この楽団です。コンサートへも子どもと一緒に参加しています」と語るのは代表の殿川笑子さん。現在、団員は20代から70代までの62名。メンバーの顔ぶれは男性、女性、独身、子ども連れ、平日は仕事をしている人と実に多彩です。

「メンバーの中には、育休・産休を取得中の人もいますが、復職してからも自分のペースで参加することができます。また、老若男女さまざまにメンバーが揃っているために、それぞれが良さを出し合いながら互いの役割を担っているんです」

この日も、メンバーたちは大きな楽器を抱え、子どもの手を引いて、午前10時、練習場所に集合しました。子どもをおぶったり、抱っこしたりしてフルートやクラリネットを吹いている姿は、一人ひとりがいきいきと輝いています。かたわらで練習を見ている子どももいれば、楽団が用意した玩具で遊ぶ子ども、元気に走り回っている子どももいます。

「子どもがぐずったら練習中もあやしいですよ、トイレに連れて出てもいいですよとお話しています。練習の合間にキッズタイムを設けて手遊びや読み聞かせを楽しみ、子どもが飽きない工夫もしています。先日もシニアの方が、英語の動物の鳴き声クイズを出して子どもたちは大喜びでした」子どもたちも良く懐いていて、メンバーも自分の孫のように可愛がっているそうです。

「子育て中のママは、家庭で楽器を取り出すヒマはありませんし、気がつけば子どものことばかりになってしまいがちです。でもここでは音楽を通じて自分の居場所ができるし、家事・育児についての情報を交換することもできます。いろいろな世代とのつながりによって、悶々と抱えていた悩みも解消できます。こうした、音楽だけでない『プラスアルファ』の部分の大切にしてほしいですね」と殿川さん。

年齢もライフステージも異なるメンバーですが、家族や地域、団員間の「和」を示す団体名のとおり、ここには穏やかで大きな「和」ができていました。

## 広告スペース



平成24年3月1日発行 (次号平成24年10月1日発行) 本誌へのご意見・ご感想は男女共同参画課まで。FAX、E-mail、ホームページでも受け付けています。

【編集・発行】さいたま市市民・スポーツ文化局市民生活部男女共同参画課 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4  
TEL.048-829-1231 FAX.048-829-1969 E-mail : danjo-kyodo-sankakuka@city.saitama.lg.jp

この情報誌は547,000部作成し、広告料収入を差し引いた市の負担は、1部あたり5円です。